

番組審議委員会議事録

第106回番組審議委員会を開催し、下記の通り審議が行われ、承認された。

1. 開催日時 : 令和7年3月27日(木) 18:00~19:00
2. 開催場所 : 豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル10F
千里ニュータウンFM放送株式会社
3. 出席委員 : 委員総数 6名
出席委員数 5名
4. 出席委員の氏名 (順不同)
委員長 井田 一雄 副委員長 矢野 眞理加
委員 上原 忠 鈴木 菜穂 太田 慎也
5. 欠席委員の氏名
委員 濱口 亮
6. 放送事業者側の出席者
代表取締役 中川 育子
取締役放送局長 向井 利佳子
制作部 長村 恭子
7. 太田委員からの挨拶
8. 社長より挨拶
9. 制作の長村より4月からの番組編成について説明がなされた。
10. 制作の長村より、前回審議の「ばんちゃんのコレラジオキクキク」内コーナー
“イズミヤショッピングセンター千里丘からの中継”の意見に対する回答
・今後も臨場感あふれる中継をお届けする
・音割れが気になるのご意見があったので、次回中継時に気を付ける
11. 議題
番組審議 番組「FM千里 防災・危機管理情報番組「輪島市に聞く『防災の教訓』」
1) FM千里 制作の長村より議題の概要が次のように説明された
番組「FM千里 防災・危機管理情報番組「輪島市に聞く『防災の教訓』」
放送日時 1月16日(木) お昼12時30分~13時
番組の内容については「番組概要」を参照。

2) 過去放送分をお聴き頂き、各委員に審議・意見を求めた。

各委員の意見は次の通り。

- ・阪神淡路大震災から丸 30 年を迎える前日で市民の防災意識が高まっているタイミングで放送されたのは良かった。
災害を経験された方の話は非常に説得力があり、自助、互助、共助をしっかりと市民のみなさんに意識づけることは大切。
災害の危険性は日増しに高まっているので、災害時に備えるいいきっかけになった番組ではないだろうか。
- ・テレビやネットで見える情報より、実際に現場に動いていた方の話なので非常に説得力があり理解しやすく聞きやすかった。
被災地の方と実際に吹田から支援に行かれた方、それぞれの立場での話はリアリティがあり、防災意識の向上につながったのではないかと。
行政に頼りがちな世の中になっているので、自分たちにできることという観点をしっかり持っていただくきっかけになればいいと思う。
毎回のゲストは難しいと思うが検討して欲しい。
- ・小中学生を対象に防災訓練をやっているのは大事。
このような番組を定期的に発信していくのが備えに繋がっていくのではないかと。
出演者のリアリティのある話はリスナーにとって役に立つと思う。
- ・全体的に聞きやすかった。
地震の前日に備えるなら何に備えるのかという質問では、リアルに情報が取れないという話を聞きイメージすることができた。
幼い頃から防災の意識を伝えていくのは大変だが必要である。
地域ラジオとしていい番組だったと思う。
- ・ラジオは視覚的な情報が欠けているなかで、実際その発災状況を経験された方の話をリアルに聞くことができ、耳で聞いているだけなのに、映像として浮かんでくるいい番組だったと思う。
防災の意識は近くで災害がおきたら気を付けないといけないと思うが、時間がたって安全圏にいると忘れてしまう。意識が薄れない為にも定期的にこういう番組があってもいいのではないかと。

3) 会社側の回答として次の通り述べた。

- ・来年度も定期的に吹田市と防災番組を発信する。

12. 次回開催予定について

令和 7 年 5 月 29 日とすることを決めた。

以上

添付資料として

- ・番組概要 番組「FM千里 防災・危機管理情報番組「輪島市に聞く『防災の教訓』」
- ・4月からのタイムテーブル

議事の経過を明確にするために、上記議事録を作成し、FM千里ホームページ (<http://www.senri-FM.jp/>)に令和7年5月28日より掲載する予定。

令和7年3月27日

千里ニュータウンFM放送株式会社 番組審議会